

荏原製作所、中高生女子向け STEM領域の職場体験プログラムを開催 ～ “理工系の楽しさ” とのタッチポイントで次世代の可能性を広げる～

株式会社荏原製作所
ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン推進部
横川 貴之

1. 女性の理工系進学を取り巻く環境

日本における理工系分野に進学する女性の数は、OECD諸国の中でも最低水準と言われております^{*1}。その一方でOECDのPISA2022調査では、日本の15歳の女子生徒の平均得点が科学的リテラシー、数学的リテラシー、読解力のいずれもOECD平均を大きく上回っており、学力は国際的にも高い水準にあります^{*2}。

内閣府の男女共同参画白書^{*3}では、日本における女性の理工系進学を阻む要因として、無意識の思い込み

(アンコンシャス・バイアス) やロールモデルの不足、進路指導や家庭での固定的な性別役割観を挙げ、これらに対する取り組みの必要性を示しています。

こうしたことから、日本の女性の理工系分野への進学の少なさは能力の問題ではなく、社会的な構造や意識の問題が大きいと考えられます。女性の理工系分野への進学、そして女性活躍を促進するには、若い世代が性別にとらわれず進路を選択できる環境を整えることが不可欠です。



女子中高生のグループワークを見守る荏原製作所の女性社員

2. 「Girls Meet STEM」 への参画と目的

荏原製作所（以下：荏原）は、ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン（DE&I）の推進と理工系分野における女性の人材育成の一助となることを目的として、公益財団法人山田進太郎D&I財団が実施する中高生女子向けSTEM（Science, Technology, Engineering, Mathematics：科学、技術、工学、数学）職業体験プログラム「Girls Meet STEM」に2025年度から参画しています^{*4}。

「Girls Meet STEM」は、理工系分野に関心を持つ

中高生女子が、大学や企業の現場で“リアルな理工系の仕事”を体験できるプログラムです。科学や技術の面白さを体感し、将来の進路を考えるきっかけを得ることを目的に、山田進太郎D&I財団が全国で展開しています。理工系企業の一角を担う技術系メーカーとして、荏原はその取り組みに共感し、上述の課題解決に貢献するとともに、理工系の裾野を広げ、若い世代が性別にとらわれずに活躍できる社会を目指して参画しました。



理工系を志す中高生女子に向けてDE&I推進部長からメッセージ



荏原製作所に関するクイズは大盛況

3. プログラム概要

2025年8月29日、中学1年生から高校3年生までの性自認が女性（ノンバイナリー含む）の方々を対象としたオフィスツアーを藤沢事業所で開催しました*5。

プログラムの前半では、荏原の歴史と技術を紹介する展示室ツアーを実施しました。社会インフラを支えるポンプを中心とした、普段はなかなか見ることのできない産業機械を前に、参加者は興味津々の様子でした。そして、社員がクイズ形式で製品の特徴や仕組みを解説。「富士山の高さまで水をあげられるポンプ」や「プールの水を1秒で空にできるポンプ」など、荏原の技術力に驚きと歓声が上がリ、次第に会話が弾んでいきました。

続いて、xR（クロスリアリティ）技術を活用したバーチャル体験では、ポンプ内部の流体の動きや機械構造を三次元で可視化。まるで機械の中を旅しているかのような体験に、参加者たちは目を輝かせて画面を覗き込んでいました。先端技術を用いた学びのスタイルに触れることで、理工系分野がもつ創造性や可能性を感じていただけました。

プログラム後半では、理工系分野で活躍する女性社員による座談会を実施。登壇した社員は、それぞれ異なるキャリアを歩んできた先輩たちです。学生時代の経験や仕事を通じて感じるやりがいを語りながら、キャリアについて参加者と率直に意見を交わしました。

「中高生時代はどんな仕事に就きたいと思っていましたか?」「どうして荏原で働こうと思ったのですか?」「仕事でやる気が出ない時はどうしますか?」——どの質問もまっすぐで、そして本質的でした。社員たちは自分の経験をもとに丁寧に答え、一人ひとりの関心や悩みに寄り添うことができました。

4. 参加者と社員の声

プログラム終了後、参加者からは「バーチャル体験が楽しかった」「また荏原に来たい」「迷っていたが、理工系の仕事に進みたいと思えた」といった感想が寄せられました。短い時間の中でも、理工系の奥深さや魅力に触れ、自分の将来を少し具体的に思い描くきっかけになったようです。

また、社員にとってもこの取り組みは大きな学びとなりました。「今回のプログラムに参加することで、改めて自分自身の学生時代からの価値観やキャリアを振り返る貴重な機会になりました。若い世代の学びやキャリア選択の一助となれていれば本当に嬉しい」と語る社員もいました。

中高生女子の理工系分野への関心を高める活動であると同時に、働く社員自身が自らの仕事の意義を再確認する機会にもなりました。



xR技術を利用したバーチャル体験の様子

5. 今後の展望

荏原では、今回得られた学びを今後の活動に生かし、職場体験プログラムを継続していく予定です。将来的には、他企業との連携も視野に入れ、より多くの中高生が理工系の現場を体験できる機会を拡大していきたいと考えています。

また、当社ではこれまでも女性活躍推進や、社内外のDE&I推進活動を積極的に展開してきました。今回の取り組みはその延長線上にあり、企業の社会的責任を果たす

新たな形でもあります。理工系に興味を持つ若い世代にとって、荏原での体験が自分の可能性を広げる第一歩となることを願っています。

今後も荏原は、このような取り組みを通じて産業機械業界を支える人財の裾野を広げるとともに、将来的に性別を問わず、幅広い層から選ばれる企業であり続けることを目指して、企業活動を進めてまいります。



オフィスツアー後の集合写真

<脚注>

- ※ 1 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局：科学技術分野における女性研究者の活躍促進について
https://www.gender.go.jp/kaigi/senmon/keikaku_kanshi/siryo/pdf/ka21-2.pdf
- ※ 2 文部科学省・国立教育政策研究所：OECD生徒の学習到達度調査(PISA)2022年調査国際結果報告書
<https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/>

文部科学省：教育分野における女性の理工系人材の育成及びアンコンシャス・バイアス解消に向けた取組について
<https://www.mhlw.go.jp/content/11909000/001373660.pdf>
- ※ 3 内閣府男女共同参画局：男女共同参画白書[令和6年版]
https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r06/zentai/index.html
- ※ 4 ニュースリリース：(公財)山田進太郎D&I財団が実施する中高生女子向けSTEM職業体験プログラム「Girls Meet STEM」に参画(2025/5/21)
<https://www.ebara.com/jp-ja/newsroom/2025/20250521-02/> 
- ※ 5 ニュースリリース：中高生女子向けSTEM職場体験プログラムを藤沢事業所で開催(2025/9/3)
<https://www.ebara.com/jp-ja/newsroom/2025/20250903-02/> 